

府内衰弱野鳥は高病原性鳥インフルエンザ陽性！！

京都市で発見された衰弱野鳥（ノスリ）から検出された鳥インフルエンザウイルスの病原性は高病原性（H5 亜型）でした。

日本全国、いつどこで発生してもおかしくない状況が続いています。

- 採取日：令和4年1月27日
- 採取場所：京都市
- 検査材料：衰弱野鳥（ノスリ）
- 検査結果：高病原性鳥インフルエンザウイルス陽性（H5亜型）

厳戒態勢で発生防止対策を再点検し、徹底して下さい。

毎日の健康観察！ 早期発見、早期通報！

- ◆ 農場（周囲や鶏舎内外も含め）及び鶏舎入出時の消毒
- ◆ 防鳥ネット等の破損箇所は補修し、野鳥・野生動物侵入防止を再徹底
- ◆ 関係者以外の農場への立入制限（特に海外渡航歴の確認）
- ◆ 家さんの飲用水の塩素消毒（または水道水を給与）
- ◆ ねずみ対策



大切な家さんを、
高病原性鳥インフルエンザ から
守りぬきましょう！！

特定症状（以下の症状を確認したら直ちに通報してください。）

- 同一の家さん舎内で1日の死亡率が過去21日間平均の2倍以上
- 鳥インフルエンザの検査でウイルス抗原及び抗体確認
- その他(5羽以上がまとまって死亡、鶏冠、肉垂变色、沈うつ、産卵率低下等)